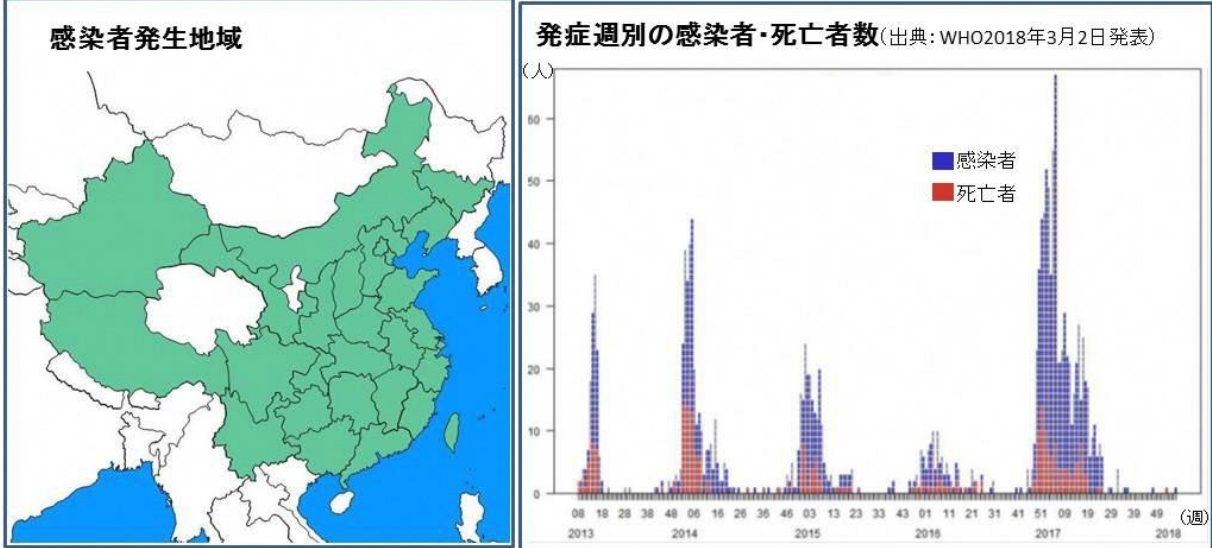


最近のインフルエンザ発生の動向について

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況(2013年3月以降)

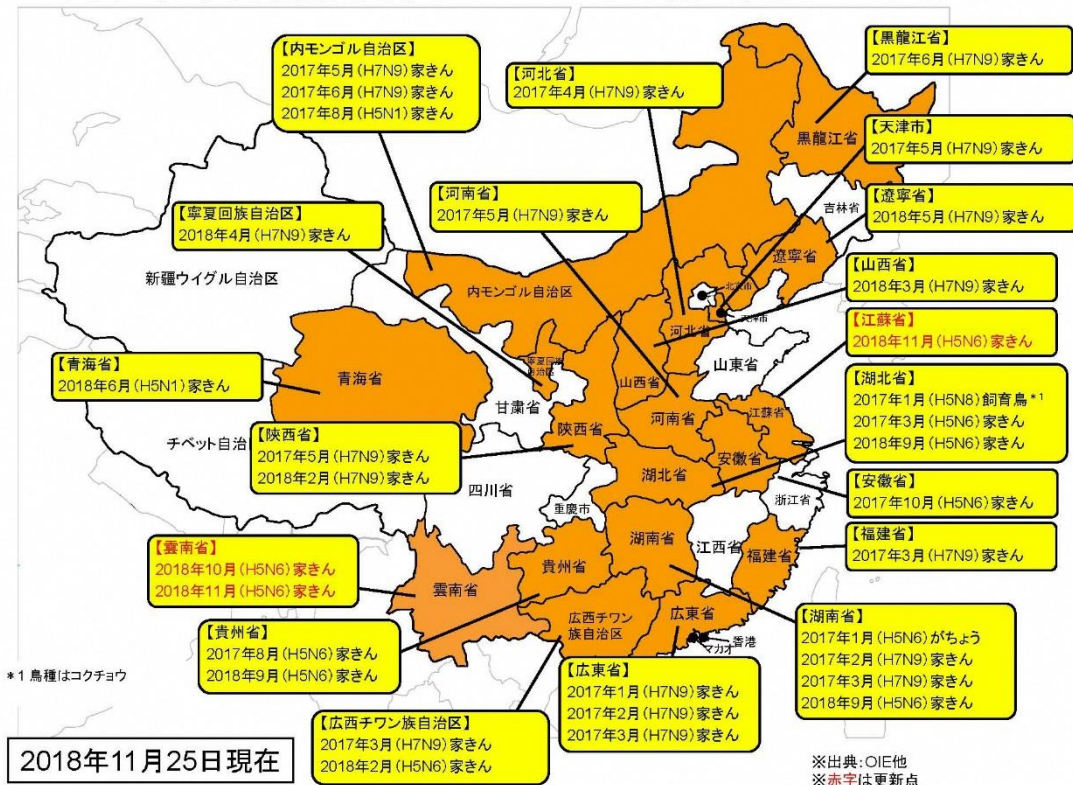
2018年3月2日WHO発表によると、2013年3月以降、ヒト感染患者は1567名(うち、少なくとも615名死亡)。発生地域は中国(4市19省4自治区)、香港特別区、マカオ特別区、台湾で、輸入症例はマレーシア、カナダにて報告がある。



感染者数: 中国(香港及びマカオを含む) 1559名、台湾5名、マレーシア1名(輸入症例)、カナダ2名(輸入症例)

厚生労働省健康局結核感染症課 H30.3.20作成

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2017年1月~)



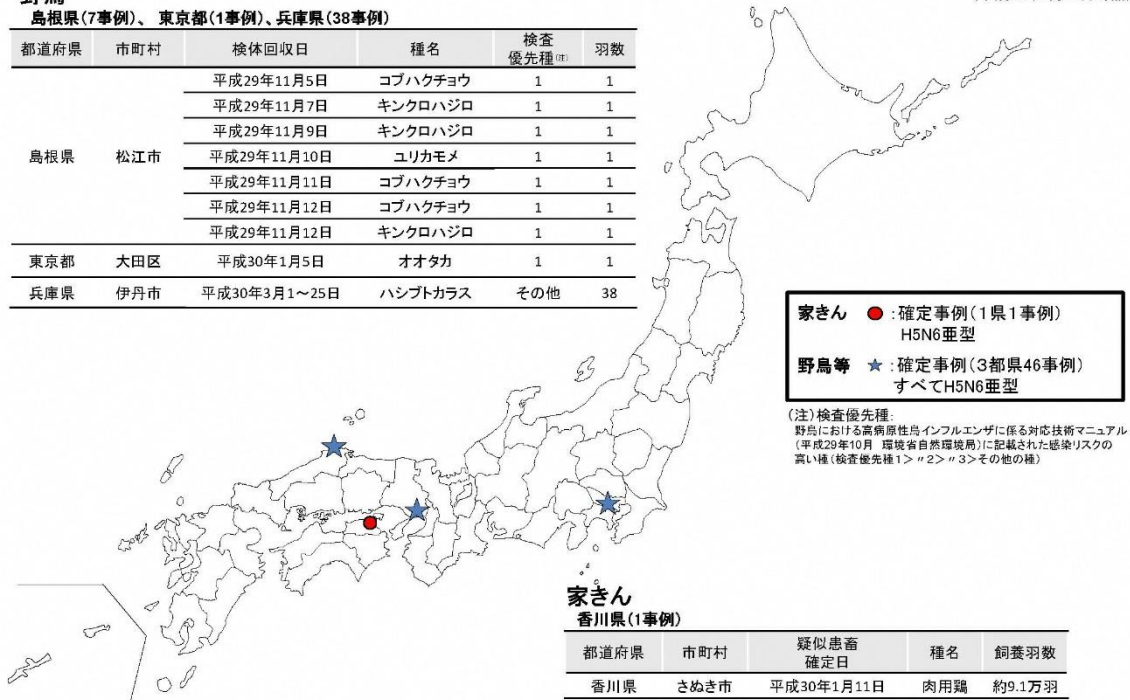
国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

野鳥

(平成30年4月12日時点)

島根県(7事例)、東京都(1事例)、兵庫県(38事例)

都道府県	市町村	検体回収日	種名	検査優先種 ^注	羽数
島根県	松江市	平成29年11月5日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月7日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月9日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月10日	ユリカモメ	1	1
		平成29年11月11日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	キンクロハジロ	1	1
東京都	大田区	平成30年1月5日	オオタカ	1	1
兵庫県	伊丹市	平成30年3月1~25日	ハシブトカラス	その他	38



家きん ● : 確定事例(1県1事例)
H5N6亜型

野鳥等 ★ : 確定事例(3都県46事例)
すべてH5N6亜型

(注)検査優先種:
野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル
(平成29年10月 環境省自然環境局)に記載された感染リスクの
高い種(検査優先種1>2>3>その他の種)

家きん 香川県(1事例)

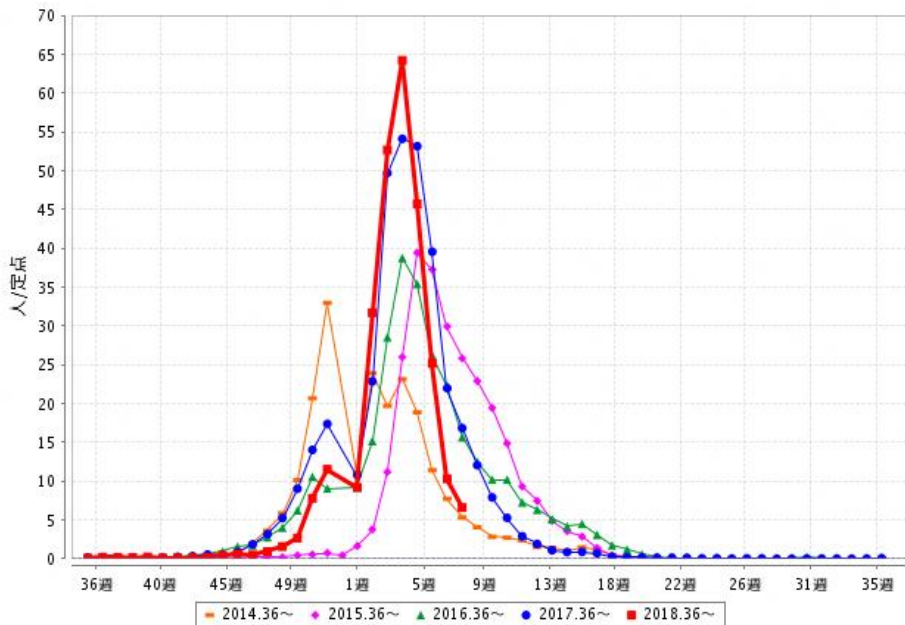
都道府県	市町村	疑似患者 確定日	種名	飼養羽数
香川県	さぬき市	平成30年1月11日	肉用鶏	約9.1万羽

(農林水産省 HP)

2011年4月以降、家禽・野鳥いずれからも高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス検出なし。
平成30年11月21日:愛知県名古屋市中において採取された野鳥糞便1検体から、低病原性鳥インフルエンザウイルス(H7N9亜型)が検出されたとの報告あり。

(参考) 都内のインフルエンザ流行状況

1月17日に流行警報が出され、第8週(2月18~24日)に基準以下になりました。



(C)2002-2019 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

(東京都感染症情報センター)